



避難場所の区分と内容

①広域避難場所

同時多発火災が発生し、人命に著しい被害を及ぼすと予測される場合の避難に適する大きな公園など。

②一時避難所：

一時的に避難できる広場、公園や学校の校庭など。

③収容避難所

宿泊・給食等の生活機能を提供できる施設。小・中学校など。

非常時 (緊急避難・安否確認・災害応急活動)

大規模災害の発生

災害時の行動

平時時 (日頃の備え)

普段から非常持ち出し品を常備しておく

避難場所・避難経路確認

家具の転倒防止対策

家族で避難場所を決めておく

自助

身の安全・安全な避難

避難所へ

避難誘導と避難先への支援

地域をハトロール

安全な指定避難所に行く

けが人の手当・救護

早期の避難

早期の避難

指定避難所開場

安否確認と避難支援(遠く離れた人へ)

災害弱者を避難させる

自助

共助

要援護者の避難支援の段取りを考える

避難訓練への参加

安全なお勧め避難路を地域で確認しておく

安否確認の方法を感じ合い、決めておく

共助